

豊富なミネラルと微生物の活性化による土づくりを支える有機完熟堆肥 (臼杵市土づくりセンター)

大分県臼杵市

2024年10月時点

豚ふん

草木類

管内

○ 臼杵市土づくりセンターは、地域内資源（草木類・豚糞）を活用した有機完熟たい肥「うすき夢堆肥」を製造し、地元生産者に供給。臼杵市は、令和5年4月にオーガニックビレッジを宣言しており、同センターは、農業における土づくりを支える重要な拠点。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

- ・ 草木類
- ・ 豚糞

- ・ 種類：特殊肥料(たい肥)
- ・ 肥料名：うすき夢堆肥

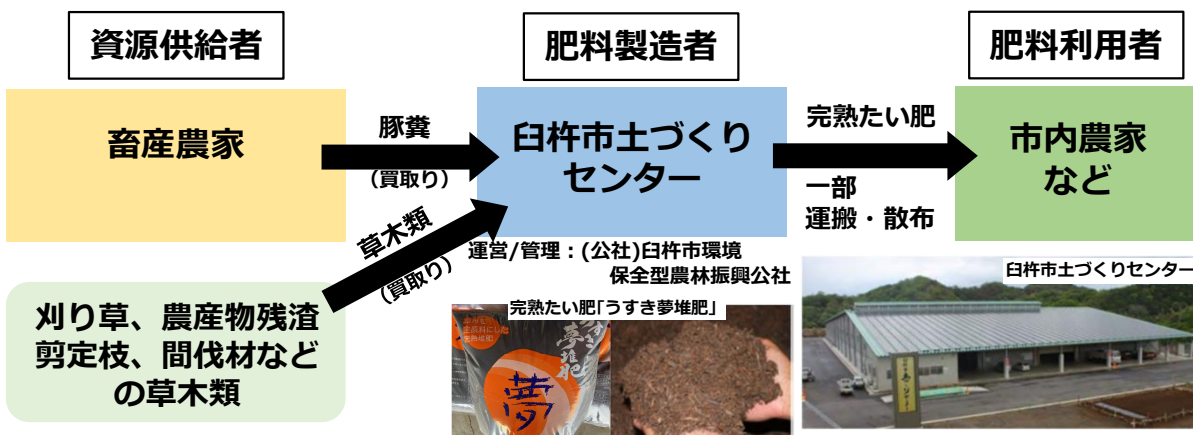
■ 作物 ■ 主成分の含有量（％）、特徴等

- ・ ピーマン
- ・ 有機農産物
- ・ 園芸作物

N	P	K	水分	CN比
0.7	0.7	0.6	50	24

草木類を解繊し、豚ふんと混ぜ合せ、切返しを繰返ししながら水分調整を行い、6か月の期間をかけて自然により近いミネラルを豊富に含み微生物の回復にもつながる「土壌改良型」の有機完熟たい肥

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

臼杵市は、自然環境と調和した農林水業の振興による循環型社会の構築を目指すため、環境負荷の軽減に向けた土づくりの核となる「臼杵市土づくりセンター」を平成22年に開設。

取組の主な内容

- ・ 草木類を主原料草木類8割、豚糞2割)とした有機完熟たい肥「うすき夢堆肥」を製造・販売し、土づくりを推進。
- ・ 「うすき夢堆肥」等の有機質肥料で土づくりを行い、化学的に合成された肥料や農薬の使用を避けた圃場で栽培された農産物を「ほんまもん農産物」として市長が認証する地域認証制度を平成23年に創設。

成果

- ・ 「ほんまもん農産物」をはじめとする有機栽培を行っている圃場面積と生産者数 97ha、61戸（令和6年3月末）
- ・ 学校給食をはじめとする地産地消の促進にむけた農産物の安定生産、安定供給の推進の結果 令和5年度末、お米を除いた「ほんまもん農産物」の学校給食への供給率 約24%(28品目)

認証シール



■ 今後の課題・取組

- ・ 「うすき夢堆肥」を核とした有機農業推進環境整備
- ・ 「ほんまもん農産物」の安定生産に向けた栽培技術の向上
- ・ 学校給食への供給率向上ならびに販路拡大
食農教育の推進、共同出荷体制の構築、保冷保存実証試験、有機栽培米実証試験、大都市圏への販路拡大、ブランド化に向けた調査研究など
- ・ 持続可能な農業経営に向けた生産者の育成
- ・ 新たな有機農業研修制度の創設

ほんまもん農産物 P R 動画

